

JAしまねびより

2017

7

July Vol.16

特集 JALしまね 第3回通常総代会開催



第3回

通常総代会特集

J Aしまね第3回通常総代会を6月25日、島根県民会館大ホールで開催。総代会資料から平成28年度事業報告、平成29年度事業計画の基本方針など主な内容についてお知らせします。



議長団（杉原総代（左）、栗栖総代）



あいさつする竹下正幸代表理事組合長

総代の皆様へ
当日は、遠方より、或いはご多忙の中、ご出席いただき、心から御礼を申し上げます。
そして、全ての総代の皆様、統合からの任期中、様々な面でお世話になり、改めて感謝を申し上げます。
今後も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

当日は、総代定数1,000人（欠員15人）に対し、962人（本人出席579人、委任状13人、書面出席370人）の出席。議長団に、杉原定氏（斐川地区本部）、栗栖卓三氏（いわみ中央地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

竹下組合長が「JAしまねが発足して3年目を迎えた。一体感を一層強固なものとして、組合員・地域住民から選ばれ、頼られ、必要とされるJAとなれるよう改革を進めていく」とあいさつ。来賓の藤原孝行島根県副知事から、「農業を取り巻く環境はめまぐるしく変化しているが、JAしまねでは水稲肥料農薬価格の低減や米の買取制度の導入など、積極的に自己改革を実践している。今後も農業者所得の増大のための取り組みを続けていただくことに期待している」との溝口善兵衛島根県知事の言葉をいただきました。

また、JAしまねの発足以来、組織運営の牽引ならびに地域との橋渡し役として尽力いただいた方々の功労者表彰を行いました。



平成28年度 事業報告

平成28年度は、安倍内閣のもとデフレ脱却の兆しは見えつつあるものの、経済成長率は依然として低迷状態にあり、設備投資や個人消費等の改善には鈍さも見られるほか、マイナス金利の影響もあり、先行きの景気回復には不透明な面が見られました。

また、海外では英国が国民投票によりEU離脱を決定し、米国では政策運営能力が未知数とされるトランプ政権が発足するなど、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

TPP（環太平洋経済連携協定）については、平成28年12月の臨時国会においてTPP承認案及び関連法案が可決・成立したものの、米国トランプ大統領の就任により現政権でのTPP発効は難しい状況となっています。今後、FTA（日米自由貿易協定）交渉や、EPA（日EU経済連携協定）交渉の動向も注視し、日本の「食」「農」「協同組合」の重要性をアピールする運動を引き続き展開していく必要があります。

組織情勢では、平成28年4月に新農協法・政省令・監督指針が施行されました。また、農協法附則において、政府は准組合員の事業利用規制の在り方について、5年間、正組合員及び准組合員の組合の事業の利用の状況並びに改革の実施状況についての調査を行い、

検討を加え結論を得ることとしています。

JA自己改革については、農協法5年後検討条項をふまえ、JA全国大会決議である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重点課題として取り組んできましたが、大会実践期間である平成31年3月までに着実に実践し、十分な成果を上げ、組合員やJAグループ外部からの評価を高めていくことが不可欠となっています。

こうした状況の中、平成28年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」初年度として、営農指導と経営指導を通じて、組合員・生産者の所得向上に向けた取り組みを実施しました。取り組みの結果、販売品販売・取扱高が38,259百万円、購買品供給高が34,092百万円、貯金残高が994,007百万円、貸出金残高が308,072百万円、長期共済保有高3,659,406百万円となりました。

財務状況については、内部留保に努め、自己資本比率は15.21%となりました。

収支面については、事業利益が1,050百万円、経常利益は2,014百万円となり、当期剰余金は1,295百万円となりました。主な事業活動と成果の詳細については次ページのとおりです。

■貯金残高	994,007百万円
■貸出金残高	308,072百万円
■長期共済保有高	3,659,406百万円

自己資本比率 **15.21%**

■事業利益	1,050百万円
■経常利益	2,014百万円
■当期剰余金	1,295百万円



組合員の状況

(1) 組合員数

(単位：組合員数)

資格区分		当 期 首	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末	
正組合員	個 人	66,407	918	2,460	64,865	
	法 人	農事組合法人	193	6	3	196
		その他法人	191	14	2	203
	計	66,791	938	2,465	65,264	
准組合員	個 人	164,553	4,207	3,276	165,484	
	農 業 協 同 組 合	1	0	1	0	
	農 事 組 合 法 人	24	1	1	24	
	そ の 他 の 団 体	1,889	26	26	1,889	
	計	166,467	4,234	3,304	167,397	
合 計		233,258	5,172	5,769	232,661	

(2) 出資口数

(単位：口)

資格区分		当 期 首	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末	
正組合員	個 人	17,180,472	319,811	625,227	16,875,056	
	法 人	農事組合法人	25,872	362	506	25,728
		その他法人	31,765	3,879	2,309	33,335
	計	17,238,109	324,052	628,042	16,934,119	
准組合員	個 人	5,569,760	307,335	238,378	5,638,717	
	農 業 協 同 組 合	3,650	0	3,650	0	
	農 事 組 合 法 人	1,785	11	80	1,716	
	そ の 他 の 団 体	91,987	4,051	839	95,199	
	計	5,667,182	311,397	242,947	5,735,632	
処分未済持分		157,964	128,177	157,964	128,177	
合 計		23,063,255	763,626	1,028,953	22,797,928	

適要：(1)出資一口金額

1,000円

(2)当期末払込済出資総額 22,797,928,000円

財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区 分	項 目	平成27年度	平成28年度	
財 務	事 業 利 益	917	1,050	
	経 常 利 益	1,878	2,014	
	当 期 剰 余 金	1,266	1,295	
	総 資 産	1,091,408	1,104,465	
	純 資 産	78,907	77,982	
信用事業	貯 金	978,185	994,007	
	預 金	480,794	498,551	
	貸 出 金	307,875	308,072	
	有 価 証 券	国 債	89,969	82,394
		そ の 他	88,998	88,894
共済事業	長期共済保有高	3,779,540	3,659,406	
	短期共済新契約掛金	10,227	10,267	
購買事業	購買品供給高	35,004	34,092	
販売事業	販売品販売高・取扱高	36,512	38,259	

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

第3事業年度 剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,040,764,952
2. 剰余金処分額	1,551,763,041
(1)利益準備金	260,000,000
(2)任意積立金	952,000,000
農業振興積立金	150,000,000
農業災害積立金	100,000,000
米価格変動積立金	200,000,000
教育研修充実積立金	50,000,000
信用事業システム開発積立金	50,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
経営安定化積立金	152,000,000
施設等更新積立金	50,000,000
(3)出資配当金	339,763,041
3. 次期繰越剰余金	489,001,911

(注1) 出資配当金は年1.5%の割合です。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額64,757千円が含まれています。

主な事業活動と成果

【農業振興】

JAしまね農業振興支援事業において平成28年度から新たに「魅力ある産地づくり支援事業」を新設し、「農業戦略実践3ヵ年営農計画」の重点事項である園芸推進5品目の拡大支援やしまね和牛増頭支援、島根デラウェア改植促進支援をメニュー化し、農業生産額の拡大、農業所得の増大に取り組みました（支援額5億8百万円）。

【販売事業】

<米 穀>

米穀は平成28年度の島根県における水稻の作況指数が104（前年98）となり、主食用予想収穫量は91,300トﾝで前年比3,300トﾝの増加となりました。また、28年産米から島根米の買取制度を導入し、集荷数量は平成29年3月末現在で40,572トﾝとなり、前年を上回る結果となりました。



アグリマーケティング2016

<園 芸>

島根ぶどうが共販60周年を迎え、販売面で積極的に推進した結果、デラウェアは過去最高の単価となりました。



<畜 産>

品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組むとともに、JAしまね農業振興事業により繁殖雌牛増頭運動の実施や販売強化に努め、平成28年度の子牛市場上場頭数が5,231頭（前年対比100.2%）となり、4年ぶりに前年を上回る結果となりました。



【資 材】

肥料・農薬・飼料について、水稻肥料・農薬の銘柄統一や値下げ等を通じ、低価格による供給を進めました。

【信 用】

島根県産農畜産物プレゼントキャンペーンを実施し、貯蓄推進に併せ農畜産物消費拡大に取り組むとともに、貸出金では認定農業者支援資金により農業担い手支援を行いました。

【共 済】

契約者へのフォロー活動や、JAしまねこども倶楽部を通じた次世代対策を通して、地域への安心満足の提供と信頼の獲得に取り組みました。

【くらしの活動】

豊かでくらしやすい地域社会の実現のため、家の光の購読拡大運動をはじめとした教育文化活動、JA女子大学の開催や児童を対象とした食農教育（アグリキッズ）などを通じた「生きがい、ふれあいづくり」、健康に対する意識向上と体力づくりの促進などに積極的に取り組みました。これらの活動が評価され、平成29年2月に「第67回家の光文化賞」を受賞することができました。



あぐりスクールでの牧場体験



JA女子大学



家の光大会

平成29年度 事業方針

農業振興

方針

平成28年6月に開催した第2回通常総代会で決議された「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた農業振興に係る具体的な行動計画や数値目標に沿って、JA役員と組合員が一体となって取り組みを進めます。

計画達成に向け、営農指導体制の強化や担い手支援体制の確立、JA独自の農業振興支援事業による生産基盤強化等をJAとして行うことに合わせ、県や市町村と連携した地域農業の振興により、産地活性化と農家の手取り最大化の実現に努めます。

特に、平成30年産からの農政改革に向けて、島根県産米の生産方針について県再生協議会を中心に、県、市町村、地域再生協議会と連携し、農家所得の向上につながる米生産計画、新規需要米による生産調整等をJAも一体的に進めます。

また、島根農業の中心的な担い手である特定農業法人、集落営農、大型担い手農家等への農地集積による効率的農業の普及と会計支援システムの更新を図り、記帳代行やデータ提供による組合員の利便性向上と経営分析による経営の安定化に努めます。

継続性のある水田営農の実現に取り

組むとともに、園芸5品目と和牛繁殖産地再生による複合的な営農形態を通じた農家所得向上を重点的に取り組みます。

重点事項

- ①「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現
- ② 営農指導体制整備
- ③ 担い手支援
- ④ 農業経営管理支援
- ⑤ 労災保険加入支援
- ⑥ JAしまね農業振興支援事業

全般

くらしの活動

安心して暮らせる豊かな地域社会の実現を目指して、女性組織、青年組織をはじめ、組合員や地域住民の参加によるくらしの活動に取り組みます。取り組みに際しては、組合員の多様なニーズについて、アンケート調査等を通じて把握するとともに、アクティブ・メンバーシップ（組合員が積極的にJAの事業や活動に参加すること）の確立を目指して、活動の質の向上と参加

者の満足度の向上に努めます。

販売事業

しまねブランド商品として県産農畜産物の販売力強化に向けて取り組みとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料事業を積極的に取り組み、地域の活性化にも貢献するとともに、より一層のサービスの充実にも努めます。

信用事業

「利用者満足度向上から事業利用拡

大への循環をつくり、島根の豊かな農業と活気ある地域を守るJAバンク」の実現のため、JAバンク自己改革「3本の柱」の完遂を目指します。

また、マイナス金利政策導入により信用事業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、コスト削減を図りながら本店・地区本部が一体となって事業戦略を展開し、JA信用事業基盤の維持・拡大に取り組みます。

- ① 農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応
- ② 信用事業の効率化
- ③ 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供

共済事業

組合員・利用者への「安心」「満足」の提供と信頼を獲得するため、事業実施体制のさらなる高度化及び平準化に取り組みながら、組合員・利用者はもとより、新規利用者拡大に向けた積極的な取り組みと、地域農業・地域社会への貢献を目的とした事業活動を展開します。

また「JAしまね共済事務センター」設置による事務の合理化及び効率化、自動車事故相談体制の充実強化を図り、「最良品質のサービス」提供を目指します。

功 労 者 表 彰

JAしまねの発足以来、役員として組織運営の牽引ならびに地域との橋渡し役として尽力され、新生JAの礎を築かれた退任役員の方々の功績を讃え、功労者表彰を行いました。



功労者を代表して
あいさつする萬代宣雄氏

当日出席された功労者の方々
(左から萬代宣雄氏、堀川栄市氏、米原稔氏、周藤昌夫氏、橋本正嗣氏、佐々木勘次氏、長岡昌利氏、足立幹男氏、築橋良治氏)

功 労 者 表 彰 名 簿

平成28年6月退任の皆様

在任時の役職

選出地区等

田中彰	服部千津子	岡崎時明	築橋良治	中島一	武田俊吉	石飛正登	足立幹男	長岡昌利	長崎勉	杉谷勤	長廻英夫	松浦嘉昭	佐々木勘次	戸谷宣義	橋本正嗣	周藤昌夫	米原稔	堀川栄市	萩尾秋光	内田孝志	玄行政美	萬代宣雄
監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	代表理事組合長
本店(女性協)	西いわみ	島根おち	斐川	出雲	出雲	出雲	出雲	雲南	雲南	くびき	くびき	いわみ中央	くびき	西いわみ	斐川	出雲	隠岐どうぜん	隠岐	雲南	本店	出雲	

雲南

空き店舗活用 地域住民の憩いの場

雲南市三刀屋町中野地区にある中野の里づくり委員会(深石広正会長)による直売所「笑(え)んがわ市(三浦由美子代表)」が6月8日に6周年を迎え、約70人が訪れました。売店の横にはサロンが併設されており、地元スタッフや利用者から持ち込まれた手料理や、コーヒーなどが200円で振舞われます。毎週木曜日に営業しており、地域住民の憩いの場となっています。

2010年10月に中野地区唯一の商店だった、旧JA雲南中野店舗が閉店。地元の女性活動グループが、JAの空き店舗を利用して地元の野菜や特産のこんにゃくを取り扱えないか提案し、同委員会や中野地区のJA女性部、地元有志が集まり、産直市運営を企画しました。

三浦代表は「スタッフを含めた全員が楽しんでいるからこそ、続けられています。この雰囲気大切にしたいです」と話しました。



賑わいを見せるサロン

隠岐

島外視察研修で 椎茸栽培技術の向上を図る

隠岐農産物生産者協議会の椎茸部会は6月14日～15日の2日間、椎茸栽培技術の向上などを目的として島外視察研修会を行い、会員やJA職員など12人が参加しました。

研修初日には、鳥取市にある「日本きのこセンター」が運営管理している椎茸ほだ場を、同センターの場長と所長の説明を受けながら視察しました。会員らは、椎茸栽培の方法についてなど活発に質問していました。その後、JA全農主催の生産者交流会に出席し、椎茸生産の楽しさや厳しさについて意見を交わしました。

2日目には、鳥取県の県民体育館で開催されたJA全農主催の乾椎茸品評会に参加しました。同部会の会員も出品しており、「こうしん中葉中肉の部」で宇野武夫さんが全農理事長賞を受賞しました。品評会には全国から高品質の乾椎茸が多数出品されており、今後の椎茸栽培の参考となりました。



椎茸ほだ場で説明を受ける参加者

くにびき

宍道支店で年金感謝デーに トラック市が開催！

くにびき地区本部宍道支店とくにびき産直出荷者協議会宍道支部は、6月15日の年金感謝デーにあわせて、軽トラックの荷台で野菜や果物を販売する「トラック市」を同支店前で開きました。夏野菜や加工食品を販売し、来店客は思い思いに買い物を楽しみました。



来店客が増える年金感謝デーに、地元農産物のPRに繋がってもらおうと、昨年から隔月で開催。野菜の販売以外にも、くにびき女性部宍道支部の部員が支店内にカフェを設けて、来店客をもてなします。

当日は、同協議会宍道支部の会員7名がナスやトマト、加工食品を持ち寄り、トラックの荷台に陳列。開店と同時に多くの人を訪れ、1時間もかからずに商品が売り切れました。また、特設カフェではリングジュースとショウガで作った「リングショウガかん」(家の光2月号参照)と抹茶を振る舞い、訪れた客は「お茶がおいしかった」と満足そうでした。同



支部の杉井キミエ部長は「多くの人に喜んでもらえて嬉しい。今後もいろいろなもてなしを考えたい」と話しました。

やすぎ

いもイモ★大作戦今年も好評

やすぎ地区本部が安来市穂日島町の中海干拓地で食育と地産地消の推進を図ることを目的に毎年開催している、サツマイモの苗植え体験イベント「いもイモ★大作戦」が今年も好評です。

6月4日に市内外から40家族、約130人が参加し、JAの営農指導員から説明を受けながら一区画10本の「べにはるか」の苗を定植していきました。今年によりサツマイモについて知ってもらおうと、栽培管理の他、品種の特徴や苗の説明などを詳しく掲載したサツマイモ栽培マニュアルをJAの担当者が手作りで作成し、配布しました。

親子で参加した女性は「去年は収穫だけだったが、子どもが楽しんでいたのが今年は定植から挑戦した。秋の収穫が楽しみ」と話しました。今後は収穫まで各自で除草作業などの管理をし、秋には収穫祭や重さを競うコンテストも行う予定です。



斐川

ぶどう集荷所開所式を開催

斐川町ぶどう生産組合は6月9日、出雲市斐川町の中央集荷所で29年産の斐川ぶどうの集荷所開所式を行いました。29年産は昨年より早い出荷開始となり、品質も良いものとなっています。

同生産組合の矢野恵司組合長は「難しい天候の中、質の良いぶどうが出荷できた。梅雨に入り、これからはより雨との戦いとなる。今年は斐川ぶどう共同販売60周年を迎える年であり、体に気をつけて農家の方々が笑顔で良かったと言える年にしたい」と挨拶しました。

また、斐川町のぶどうをPRしてもらうため、出雲市役所斐川支所の青木昭支所長と斐川地区本部の山根善治本部長へ斐川産デラウェアを贈りました。



斐川産ぶどうを受け取る青木支所長(左)と山根本部長(左から2人目)

隠岐 どうぜん

保育園児が田植えの見学会

隠岐どうぜん地区本部の海士支店では6月12日、保育園児を対象とした田植えの見学会を行い、海士町のけいしょう保育園の年長組19人が参加しました。

この見学会は、次代を担う子どもたちに食の大切さなどについて学んでもらう食農教育の一環として毎年実施しており、4月の種まきの見学に続いて、今回は田植えの見学を行いました。

当日は天候に恵まれ、営農指導員の本多安則職員から田植え作業について説明を受けた後、同職員が所有する圃場で乗用田植機による実際の田植えの様子を見学しました。子どもたちは田植え作業よりも田植機に興味津々の様子で、田植機についてのいろいろな質問をしていました。

秋には稲刈りと籾摺りの見学会も予定しています。



田植の様子に興味深く見つめる園児たち

石見銀山

あぐりスクール生き物調査

石見銀山地区本部は6月17日、今期2回目の「あぐりスクール」を開きました。11家族27人が参加し、前回植えた野菜や米の生育状況を観察した後、農事組合法人やまべの水田で生き物調査をしました。当日はドローンを使った空撮をしました。動画は同地区本部農産課のフェイスブックに掲載する予定です。

網とバケツを手手に田んぼに入り、カエルやイモリ、ミズカマキリなど約20種類の生き物を捕まえ、班ごとに発表しました。参加者は「いっぱい生き物を見つけられて楽しかった」「見つけるのが難しかった」「田んぼの中がぬるぬるだった」など感想を話しました。

生き物調査を終えると、JAしまね石見銀山女性部大代支部が用意したエコロジー米のおにぎり、大田産の具材を使った豚汁を味わいました。



生き物調査をする参加者

出雲

出雲コーチン利用促進協議会設立 地鶏のブランド化を目指して

絶滅の危機に瀕している地元の鶏「出雲コーチン」を保存し、ブランド化を図るため、出雲コーチン利用促進協議会が設立されました。島根県畜産技術センターで6月15日、設立総会が開かれ、JA、行政機関、島根県立出雲農林高校、畜産農家ら30人が出席しました。

「出雲コーチン」は、大正から昭和にかけて出雲地方を中心に飼育されていましたが、その後飼育数は減り、一時は数羽にまで減少。農林高校の生徒がこの状況を知り、研究課題として増殖への取り組みを開始しました。そこに地鶏の生産販売に意欲的な市内の畜産農家加わり「出雲コーチン」復活に向けた活動が始まりました。平成28年7月に畜産技術センター、農林高校、畜産農家、JAで第1回出雲コーチン利用促進打合せ会議が開かれ、その段階で確認できた「出雲コーチン」は17羽。順調に飼育され、現在は120羽以上に拡大しています。

平成29年度は、原種の維持・利用のルール化の検討や、地鶏生産のための交配種選定などに取り組む計画です。産官学連携で、「出雲コーチン」を軸としたブランドの確立を目指します。



畜産技術センターふれあい動物広場の出雲コーチン

西いわみ

益田市長へ シャインマスカットを贈呈

西いわみ地区本部ぶどう部会（部会長福原博）は6月5日、益田市役所を訪れ益田市のPRに役立ててほしいと山本浩章市長にシャインマスカットを贈呈しました。

同部会の福原博部会長、同部会青年部の岩崎崇司部長、西いわみ地区本部の田村清己本部長が益田市長と面会し、超早期加温栽培を行ったシャインマスカットを手渡しました。

シャインマスカットを試食した山本市長は「口の中でシャインマスカットの香りが広がってとてもおいしいですね」と感想を話しました。

全国では長野県、山梨県、岡山県に次いで、5月25日に初出荷が行われ、また5月の出荷は島根県が2006年にシャインマスカットを導入以降初めての事となりました。



山本市長（左）にシャインマスカットを手渡す福原部会長

本店

アグリレディース大学を開催

JALまね女性部は6月6日～8日の3日間、「第11回アグリレディース大学」を開催し、県内各地から女性部員など29人が参加しました。

この企画は、女性部員が地域や世代を超えて交流・情報交換することにより仲間意識の輪を広げて親睦を深めるとともに、見識を広め女性部活動の活性化を図ることを目的に2年に1回開催しています。

11回目となる今年度は九州を視察先を選び、熊本地震被災地を訪れて震災への備えや復興支援について学ぶとともに、防災に対する意識を高め、万一のための女性組織活動をすすめる契機としました。

JALまね女性部は今年4月に県単一組織として発足しました。今後も様々な活動を通して仲間づくりの輪を広げ、女性部の活動の基本である「食と農を基軸とした活動」などの充実をはかっていくこととしています。



被災した熊本県の藤木牧場で藤木亨大代表取締役（左）から説明を聞く女性部員

島根おおち

株式会社「スパーク」が 管内産地を視察

島根おおち地区本部米穀農産課は、6月27日、広島市内のスーパー「スパーク」の社長、常務他6人を招き、出荷している野菜について理解と関心を持ってもらうため管内の農地を視察案内しました。

「スパーク」とは、野菜の出荷をはじめ、11月から約1ヶ月間で管内産のもち米の宣伝のため職員数人が交代で店舗前で杵つきもちの実演販売を行うなど30年以上前から交流しています。

視察したのは、出羽地区にあるミニトマト農家や高原地区にある農事組合法人星ヶ丘の中ナス、白ネギの圃場と島根おおち地区本部の野菜の集荷場、米倉庫、牛舎といった施設などです。

スパークの社長は「産地を実際に見ることが出来て非常に良かった。直接農家と情報交換し、生育を確認することができ、大変勉強になった」と話されました。



いわみ中央

かわピコまつり盛大に開催！

江津市後地町の道の駅「サンピコどうつ」で6月17日～18日の2日間、「かわピコまつり」が開催されました。「サンピコ」は海彦（うみピコ）、山彦（やまピコ）、川彦（かわピコ）の三人に由来しており、それぞれ海の幸、山の幸、川の幸を象徴しています。この祭りではその名のとおり、清流「江の川」の幸である若鮎のつかみ取りや鮎の塩焼き、川魚の天ぷらなどの販売が行われ、多くの来場者で賑わいました。

また、18日には、同道の駅内の産直市場のレジ通過者が100万人を突破し、100万人目となった江津市江津町の主婦中谷葵さんに記念品が送られました。いわみ中央地区本部からは井上宗治本部長が「石見白いるかの舞（コシヒカリ10kg）」を記念品として贈呈しました。

中谷さんは、若鮎のつかみ取りを楽しみにご主人と長男とともに訪れていて、「山口県岩国市から転居して6月1日に江津市民になったばかりで感激しています。産直市場は野菜も魚介も新鮮で安心できるので、今後も利用したいです」と喜んでいました。



井上本部長（右）から記念品を受け取る中谷さん家族

「しまね夏の花」品評会開催

とき

平成29年

7/29(土)・30(日)

29日(土)

一般展示 9:00~16:00
表彰式 9:30~10:00

30日(日)

一般展示 9:00~15:00
※展示の即売も行います。

ところ

ゆめタウン出雲 東館太陽の広場 (出雲市大塚町650-1)

「私たちが選んだ花」賞を決定!!

ご来場の際、一番良いと思われた花に投票してください。

一番多かった作品に投票された方の中から抽選で粗品をプレゼント!!

無料で
体験!!

親子フラワーアレンジメント教室開催!!

親子で島根の花を中心にしたフラワーアレンジに挑戦してみませんか?

(公) 日本フラワーデザイナー協会島根県支部が講師!

作った作品とともに「しまねっこ」と記念撮影!

※「しまねっこ」の来場は7月30日回のみです。

両日、午前・午後各1回
各10組まで

主催：島根県農業協同組合・島根県花き生産者協議会

後援：島根県・島根の花振興協議会・ゆめタウン出雲・しまね花商組合・JAアグリ島根

■この件に関するお問合せは JALしまね 米穀園芸部園芸課 TEL:0853-25-8694

農林大オープンキャンパス 「緑の学園」参加者募集

見て触れて農林大の風・土・緑を感じてみませんか!

7/28(金)・8/2(水)・6(日)・21(月)

大田市と飯南町の両キャンパスで開催



- 農林大学校では学生募集の一環として、高校生をはじめ、本校の学習・研修に興味を持っている方を対象に、オープンキャンパス「緑の学園」を開催します。
- 体験実習は、有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛・林業コースがあります。
- 各実施日の7日前までに申し込みが必要です。
- 詳しくは農林大学校のホームページ、または島根県立農林大学校 (TEL0854・85・7012) まで。

組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法（法第35条の5）および農協法施行規則（第81条）に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を受け付けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて右記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先：住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地1

Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp

部署名 監査部

受付 監事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受け付けていますのでご利用ください。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

第3回島根おおち地区本部総代説明会

6月16日、第3回島根おおち地区本部総代説明会を、
 邑南町山村開発センターにて開催しました。当日は、総
 代定数67人のうち、52人の出席をいただきました。



事業報告

農業を取り巻く環境は、人口減少や超高齢化社会、農業者の高齢化など農業・地域社会の活力低下は深刻な状況となっております。そのような中、平成28年11月に政府の農林水産業・地域の活力創造本部において、「農業競争力強化プログラム」等が決定され、今後具体化に向けた法案、予算、税制の動向に対し、生産現場の声を反映する仕組みを進め、政策提言を行なっていく必要があります。

さらに、TPP（環太平洋経済連携協定）については、平成28年12月の臨時国会においてTPP承認案及び関連法案が可決・成立したものの、米国のトランプ大統領の就任により現政権でのTPP発行は難しい状況になっており、今後の交渉の動向に注視していく必要があります。

島根おおち地区本部においては、「第1次中期経営計画」の重要実施事項である

①安全・安心な管内の農畜産物の持続的・安定的な供給、信頼を得られる地域の農業の実現及び農家所得の向上

島根おおち地区本部 組合員の状況

(単位：組合員数)

資格区分	当期首	当期増加	当期減少	当期末
個人	4,408	66	184	4,290
法人	農事組合法人	19	1	20
	その他の法人	13	1	14
計	4,440	68	184	4,324
個人	6,830	179	222	6,787
農業協同組合	0	0	0	0
農事組合法人	0	0	0	0
その他の団体	214	4	6	212
計	7,044	183	228	6,999
合計	11,484	251	412	11,323
(備考) 当期末正組合員戸数	3,853戸			
当期末准組合員戸数	3,911戸			

※1. 「当期首」は平成28年4月1日現在であり、「当期末」は平成29年3月31日現在です。

※2. 「当期増加」「当期減少」は平成28年4月1日～平成29年3月31日の期間です。

財務・事業成績

(単位：千円)

	28年度
事業利益	148,866
経常利益	179,630
当期剰余金	155,541
貯金	56,181,720
貸出金	11,675,161
長期共済保有高	203,045,590
短期共済新契約掛金	765,410
購買品供給高	2,580,729
受託・買取販売品	1,481,795

※ 28年4月1日～29年3月31日の実績です。

②総合事業を通じて地域のライフライン確保の一翼を担い、豊かで暮らしやすい地域社会の実現への貢献

③これからの管内を支える次世代とともに食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として存立するJA

を目指し、取り組んでまいりました。

28年度も特別栽培米ハープ米きぬむすめを中心に、「結びつき米」による販売を起点としたものづくりに取り組み、販売所得の確保・生産拡大に努め、さらなる産地全体の水稻振興と所得増大

を目指し1・90mmふるい目交換への取り組みを開始しました。

また、営農生活事業における組合員対応の迅速化、視線化、効率的運営を図るため、ブロック体制への移行を行ないました。組合員・利用者への指導や問い合わせなどの対応の迅速化、職員レベルの平準化や専門性を高め、業務及び事務の集約化を図ることで効率的な運営を目指しています。

平成28年度の作況指数は104で「やや良」となり、前年産に比べて25kgの



以下、地区本部総代説明会の主な意見についてお知らせします。

Q 組合員、特に農業従事者たる正組合員の減少について、JAとしてどう対応するのか。

A JAしまねとなり、加入要件の緩和もなされ、複数組合員の促進など平成29年度より正組合員加入促進運動を進めてまいります。

Q 雲南地区本部の特別損失が数字として目立つが、どういった内容のものか。

A 会計基準に準拠し、店舗の収支が2期連続赤字、不稼動となつ

た施設等について、一定の基準のもと固定資産の帳簿価格を減損（損失）計上したことによる。明細は総代会資料57ページのとおり。

Q 農業従事者の高齢化が進んでいるが、JAとしての対策はあるか。

A 行政と連携しながら、後継者の育成は就農しやすい環境づくりを行ない、特に、単価・単収を上げコストを抑え、再生産可能価格での販売を行い「儲かる農業」の実現を目指してまいります。

増となりました。5月中旬から下旬にかけて最低気温が低く推移したことや「いもち病」の発生があつたものの、8月下旬までの天候が高温・多照・少雨で推移したことから1穂当りの粗数は増化し、粒の肥大も良好であつたため収量は多くなりました。米の品質においては、高温障害等により1等米比率は84・6%と前年を下回る結果となりました。

また、新たな取組みとして、米の買い取り制度を導入し、早期での一括精

Q 耕作放棄地対策はどうか。

A 牛の放牧やエゴマの栽培などさまざまな方法を模索し、農地の有効活用をすすめてまいります。

Q JAしまねとなり、監査業務はどのように行っているか。

A 監事：理事の職務執行と地区本部は業務監査

監査部：全部署、業務の無通告監査
地区本部：巡回指導と自主検査
などを行っていますが、購買・販売・利用事業などは、県下で事務方法にかなりの差異があり、まずは、事務マニュアルの作成を早急に行なつてまいります。

算をすることで農家所得の安定を図りました。

島根おち地区本部の最終決算状況は、事業総利益が20億955万円で、事業管理費が18億6,068万円、事業利益1億4,886万円、当期剰余金1億5,554万円となりました。

この一年間、当地区本部運営にご理解とご協力をいただいた組合員、関係者の皆様に心からお礼と感謝を申し上げます。

Q 今後、島根おちでの減損損失の見通しはどうか。

A 平成29年度は桜江支店の移転に伴い、800万程度が見込まれています。今後も施設の集約化や合理化の進展に伴い発生する可能性があります。

Q 総代定数が減り、集落単位の総代の選出方法が難しくなった。

A JAしまね第1期に選出頂いた選挙区ごとの選出方法を参考とされ、選挙区単位での選考をお願いします。



水 稲

【水管理について…7月～8月】

(1) 幼穂形成期～穂揃期…根の活力を保つ!!

稲の一生で最も水の必要な時期になります。根ぐされや下葉の枯れ上がりを防ぐため、こまめな間断灌水を行いましょう。

(2) 穂揃期～登熟期…水田の夜間温度を下げる努力を!!

出穂後20日間は米の肥大が旺盛な時期なので、土壌水分が不足しないよう間断灌水を行い、根の活力を保つために常時の灌水は避けてください。また、夜間に高温が続く場合は心白粒対策のため、夜間の用水のかけ流しを行ってください。

(3) 落水…早期落水をしなない!!

早期落水は玄米の充実不足や、未熟粒、死米を増加させます。また、胴割れ粒や過乾燥の原因となり品質を低下させるため、落水は穂揃い後25日頃(熟れ色の着き始め)を目安にしてください。

【病害虫防除…穂いもち、紋枯病、カメムシ、ウンカ】

○穂いもち防除

	薬剤名	10 a当り薬剤量	使用上の注意
粉 剤	ブラシン粉剤	3～4kg	穂ばらみ期～穂揃期 収穫7日前まで
液 剤	ブラシンフロアブル	1000倍 (薬剤 150cc/水 150ℓ)	穂ばらみ期～穂揃期 収穫7日前まで

○紋枯病防除

	薬剤名	10 a当り薬剤量	使用上の注意
粉 剤	バリダシン粉剤	3～4kg	穂ばらみ期～出穂期 収穫14日前まで
粒 剤	モンガリット粒剤	3～4kg	出穂2～3週間前に灌水状態で使用 収穫45日前まで
液 剤	バリダシン液剤5	1000倍 (薬剤 150cc/水 150ℓ)	穂ばらみ期～出穂期 収穫14日前まで

○稲こうじ防除

	薬剤名	10 a当り薬剤量	使用上の注意
粉 剤	ラテラトレボン粉剤	4kg	穂ばらみ期 収穫14日前まで
液 剤	ブラシンフロアブル	1000倍 (薬剤 150cc/水 150ℓ)	出穂10日前までに散布する 収穫7日前まで

○カメムシ防除

		薬剤名	10 a当り薬剤量	使用上の注意
粉 剤	1回目	ビームトレボン粉剤5DL (穂首いもち同時防除)	4kg	穂揃期を中心 収穫7日前まで
	2回目	スタークル粉剤 DL	3kg	1回目散布後7～10日後 収穫7日前まで
液 剤	1回目	ビームエイトレボンゾル (穂首いもち同時防除)	650倍 (薬剤 230cc/水 150ℓ)	穂揃期を中心 収穫14日前まで
		ダブルカットレボンフロアブル (穂首いもち同時防除)	1000倍 (薬剤 150cc/水 150ℓ)	穂揃期までに
	2回目	スタークル液剤 10	1000倍 (薬剤 150cc/水 150ℓ)	1回目散布後7～10日後 収穫7日前まで

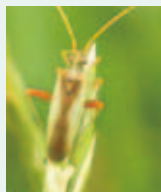
○フタオビコヤガ(イネアオムシ)・ウンカ・ツマグロヨコバイ防除

	薬剤名	10 a当り薬剤量	使用上の注意
粉 剤	スタークル粉剤 DL	3kg	発生時随時防除 収穫7日前まで

※ハーブ米及びつや姫の生産者の方は使用できる薬剤が限られますので、防除にあたっては稲作ごよみ又は、各支所営農生活課へご確認ください。

斑点米の原因となるカメムシ類と葉を食害するフタオビコヤガ

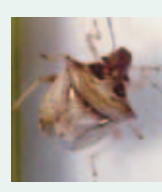
カメムシ類は、水田周辺の雑草で増殖し、稲穂が出ると穂に集まり実を吸汁し、斑点米を発生させます。フタオビコヤガは幼虫が葉を食害し、葉にカスリ状の食痕が見られ、多発すると葉が食いつくされて中央の葉脈だけが残ります。



アカスジカスミカメ



ホソハリカメムシ



トゲシラホシカメムシ



フタオビコヤガ
(イネアオムシ)



重点品目野菜について病害虫の予防徹底を図りましょう!

農薬散布される前に防除日誌を確認し、使用回数等使用基準を厳守!

●白ねぎ…お盆時期からさび病の予防を開始しましょう

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月	ネギアザミウマ・ヨトウムシ	ディアナ SC	2500～5000倍	収穫前日まで 2回以内
	黒斑・葉枯・べと・さび病	テーク水和剤	600倍	収穫14日前まで 3回以内
	ボトリチス葉枯症・黒斑病	ロブラール水和剤	1000～1500倍	収穫14日前まで 3回以内

夏休み後の土寄せは気温下がってから!!

●ナス…雨が多くてもダニの発生に注意しましょう

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月上旬	ハダニ	スターマイトフロアブル ダブルフェースフロアブル	2000倍	収穫前日まで 1回以内
	褐色腐敗病	ランマンフロアブル	2000倍	収穫前日まで 4回以内
8月中下旬	ヨトウムシ・オオタバコガ	フェニックス顆粒水和剤	2000～4000倍	収穫前日まで 3回以内
	褐色腐敗病	プロポーズ顆粒水溶剤	1000倍	収穫前日まで 4回以内

※雨や強風の後、「褐色腐敗病」が多発しますので、必ず防除して下さい。

●ミニトマト…単価の高い9月出荷にむけてトマトーン処理はていねいに!

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月	オオタバコガ・アザミウマ	コテツフロアブル	2000倍	収穫前日まで 3回以内
	斑点病・灰色かび病	ロブラール水和剤	1000倍	収穫前日まで 3回以内
	すすかび病	トリフミン水和剤	3000倍	収穫前日まで 5回以内

※梅雨明け後の遮光資材の設置・病害虫防除の徹底と灌水を定期的に行って下さい。

●ピーマン…降雨後はヘタの痛みに注意して出荷をお願いします!

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月	オオタバコガ・アザミウマ	コテツフロアブル	2000倍	収穫前日まで 2回以内
	うどんこ病・斑点病	カスミンボルドー	1000倍	収穫前日まで 5回以内

※尻腐れ（カルシウム欠乏症状）予防のためカルプラスを定期的に散布して下さい。

平成29年度ライスセンター 利用料

平成29年度におけるライスセンターの利用料を下表により定めることとします。

ライスセンター利用料 (米袋 別途)

税別 円

籾含有水分	17.0%以下	17.1% 18.0%	18.1% 19.0%	19.1% 20.0%	20.1% 21.0%	21.1% 22.0%	22.1% 23.0%	23.1% 24.0%	24.1% 25.0%	25.1% 26.0%	26.1% 27.0%	27.1%以上
玄米1kg当り	17.5	20.7	23.8	27	30.2	31.7	33.3	35	36.5	38.1	39.7	41.2

色彩選別機利用料 (運賃 別途)

税別 円

	品位 2等米	品位 3等米以下
玄米1袋(30kg)当	240	360

保有米運送 税別120円/袋
生もみ運送 税別5.1円/kg

平成29年度 水稲受託農作業料金表

受託作業種別	受託作業内容	面積単位	受託料金(税別)
稲刈り～ライス荷受	コンバイン刈	10a	20,648円

次の作業については、割増料金を追加する場合がある。
1. ひとつの圃場面積が5a未満の機械作業は、20%割増
2. 倒伏田でのコンバイン作業は下記の割増料金

倒伏面積割合	30～50%未満	50～80%未満	80%以上
割増料金率	20%割増	30%割増	50%割増

消費税額は、作業時における該当税率を乗じたものとする。

平成29年産米より玄米紙袋の皆掛重量が変更になりました

玄米紙袋の皆掛重量(正味重量+風袋重量)が平成29年産米より30.6kgから30.5kgへ量目に変更になりました。まだ皆掛重量の訂正(検査印認印)を行なっておられない方は出荷前に再度ご確認ください事前に変更をお願いします。詳しくは、各事務所にお問い合わせください。

「ふれあい農園」 サツマイモ苗植え交流

島根おうち青年連盟、女性部、JAの三者が協力し、邑智郡邑南町中野の「ふれあい農園」で保育園児らとサツマイモの苗植え交流会を開催しました。次世代を担う子供たちが土に触れ、作物を育て、収穫までの一連の流れを通して「食と農のつながり」の大切さを知ってもらおうと2005年から継続しており今回で12回目。今回は、管内10の保育所から135名の参加がありました。

園児らは、青年連盟や女性部部員、JA職員の手を借りながら、10aの圃場にサツマイモの苗1,200本を植えました。

青年連盟の玉川幸司委員長は、「土に触れ、作物の成長を知ってもらおうとともに地元の作物の良さを感じてもらいたい。秋にはおいしいサツマイモが採れるのを楽しみにしてほしい。」と話されました。



6月
6

第55回島根米品評会

第55回島根米品評会が開催され、6月9日に松江市において表彰式が行なわれました。品評会においては、形質、整粒歩合、着色粒、異種穀粒に食味値を加え審査されました。県内138点の出品がある中で、管内の元根正規氏の出品米が総合得点、形質、整粒歩合が特に優れており「特別栽培米ハーブ米きぬむすめ」で首席「農林水産大臣賞」、「特別栽培米つや姫」で3席「全農会長賞」のダブル受賞されました。また、島根県知事賞には、石原下宮農組合の「きぬむすめ」が受賞されました。

他の受賞者については次の通りとなっています。

顕彰名	受賞者	品 種
農林水産大臣賞 (総合首席)	元 根 正 規 さん (瑞穂)	きぬむすめ
全農会長賞 (総合3席)	元 根 正 規 さん (瑞穂)	つ や 姫
島根県知事賞	石原下宮農組合 (邑智)	きぬむすめ
島根県農業振興 協会会長賞	池 上 仁 志 さん (大和)	きぬむすめ
島根県農業協同 組合会長賞	農事組合法人 森実AA (石見)	きぬむすめ
	溝 口 定 信 さん (石見)	つ や 姫

島根米品評会表彰



島根県知事賞
石原下宮農組合



農林水産大臣賞・全農会長賞
元根 正規

6月
9

フレミズ「幸せのたね たんぽぽ」部会、大豆苗を植える



「幸せのたね たんぽぽ」は、邑南町中野にある「ふれあい農園」で赤大豆の苗を植えつけました。メンバーは自ら種を蒔き育苗した赤大豆の苗を、鳥に双葉を食べられないように一苗、一苗、しっかりと植え込みました。参加したメンバーは大豆が順調に生育するのを楽しみにしています。これからも手作りすることを大切に活動していきたいと話していました。植えつけられた赤大豆は、秋に収穫し、味噌加工や豆腐作りに使用する予定です。

6月6

菌床しいたけ生産組合総会開催



第17回菌床しいたけ生産組合総会をいこいの村しまねにおいて開催しました。総会での事業報告では、全国大会での品評会において金賞を含む16点の入賞について、また菌床しいたけレシピコンテストへの取組みについて報告がありました。29年度計画では、きのこの里づくり事業への取り組みが説明されました。現在、管内で8,700千円の販売高となっており、この事業への取り組みにより将来的には、販売高2億円を目指します。

6月13

ゆとり倶楽部 第2回講座開催



ゆとり倶楽部は、島根おち地区本部2階大会議室で第2回講座を開講しました。今回は、講師に家の光地方講師の影山和美先生をお招きし、クレイ樹脂粘土を使った小物作りを習いました。講座には受講生28名が参加し、フタ付ガラス容器のフタにクレイを使ってデコレーションをしました。はじめにクレイの扱い方や、120℃のオーブンで20分焼くと硬くなるなどの特徴を聞いた後、それぞれ好きな色の粘土を選び、小さく千切ったり、型抜きしたりして花びらや葉っぱなどのパーツを作り、フタに配置していき、完成した物からオーブンで焼き上げました。また、焼き上げを待つ間、本体のガラス容器に、ポーセラーツ用の絵柄シールを貼り付けました。これらの作品は、影山先生に焼き付けをして頂き、後日届く予定です。受講生たちは、粘土なので扱いが簡単でオーブンで焼くだけでできるので、自宅でも簡単に作れそうと好評でした。

6月14

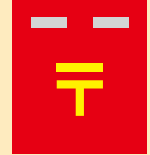
瑞穂・羽須美年金友の会総会



島根おち地区本部の瑞穂・羽須美両支店の年金受給者による瑞穂・羽須美年金友の会総会が、邑南町の「田所公民館」で開催されました。総会は、2年毎に開催され、27年度・28年度の事業、会計報告と29年度・30年度の事業計画が報告されました。総会の終了後には、懇親会・アトラクションがあり、マジックショーや津軽三味線、歌謡ショーが行なわれました。また、瑞穂支店・羽須美支店の職員による演芸も披露され、揃いの手作り衣装でダンスを披露しました。瑞穂管内から159名、羽須美管内から64名で合計223名の大勢の年金受給者の出席があり、盛やかな総会となりました。

6月24

お便り紹介



今月も皆さんからののおたよりがたくさん届いています。ありがとうございます。その他、JAに対するご意見やご要望などもお寄せください。

◇私事ですが5月よりJAの「野菜作り教室」へ月一回いっております。今回の「営農だより」の病害虫の予防徹底のページはとても参考になります。百姓一年生にとっては色々勉強になりありがたい限りです。上手に野菜作りが出来ますように頑張ります。今は主人が主ですが、
 邑智支店管内 Kさん 50代

●重点品目野菜(白ねぎ、ナス、ミニトマト、ピーマン)の病害虫の予防についてでしたね。野菜によって使用する薬剤や使用時期・使用回数などに決まりがあつてなかなか難しいですね。がんばれば百姓一年生！判らない事はJAの営農指導員に遠慮なくご相談下さいね！

◇今年の梅雨は、空梅雨で皆さん水稲、畑作物に水が欲しい状態ですが、そろそろ本格的な雨到来となるでしょうか？ホタルや、アジサイ、山ユリが見られる様になるのが楽しみです。
 石見支店管内 Aさん 60代

●予報では雨が多いとの事でしたが、どうでしょうか？蒸し暑い6月〜7月ですが、アジサイや山ユリを観賞するのは楽しみです。また夕方、薄暗くなつて月見草が咲き始める頃ホタルの光りを見つけるのも楽しみです。

◇今月裏表紙の「しまねのれしび」のスナップエンドウとキャベツの和え物、夏にピッタリのメニューです。我が家にキャベツがたくさんできて、豚肉とキャベツ、えのきや他の野菜とで蒸し煮にしますが、この和え物もいいですね。今日は豚肉が家にないので明日あたり買いに行き、早速夕食のメニューにします。白身魚の木の芽みそチーズ焼きもおいしそうですね。色々参考になります。ありがとうございます。
 桜江支店管内 Sさん 60代

●豚肉の事ちょっと調べてみました。「疲労回復ビタミン」と言われるビタミンB1が豊富、脳の働きを活性化させる栄養素ビタミンB12や、コロステロールを低下させる脂肪酸も多く含まれ、低カロリーで、お肌の活性化にも良い。へえー！すごい食材だったんだあ。と感動しました。

◇我が家のアジサイが、さし木から約5年ぶりに今年咲きました!!薄むらさきにブルーのさわやかな花びらにて、うれしいーうれしいーの連呼。しかし、今年は空梅雨にて毎日の水やりが欠かせませんが苦にならず、サービス満点の水やりです。植えた苗が育つのはうれしいものです。庭がないので余計に感動しています。来週末ぐらいでも雨が降りますように!!
 川本支店管内 Yさん 70代

●おめでとうございます。5年間待ちに待った開花。愛情たっぷり育てられたアジサイ。これからずっと梅雨の季節になるとYさんのため、さわやかな花を咲かせることでしょう。楽しみ、楽しみ。ですね!

和牛情報

平成29年6月子牛市場成績表



中央“急落”の相場展開

本県6月の子牛市場は、中央市場のみの開設で、271頭の上場があり、平均価格は、雌658,910円、去勢738,756円、総平均705,461円で“急落”の取引となりました。

今月上場牛は、ややバラツキがみられ、発育良好なものが多くみられた反面、発育・肋張りが弱いもの、過肥気味のものの一部で見受けられました。

県外移出率

雌 42.37% 去勢 27.54% 合計 33.68%

		頭数	最高価格	最低価格	平均価格
中央市場	メス	114	1,630,800	239,760	658,910
	又キ	157	1,040,040	193,320	738,756
	合計	271	1,630,800	193,320	705,461
島根おおち	メス	11	762,480	529,200	646,331
	又キ	23	893,160	584,280	738,250
	合計	34	893,160	529,200	708,512
瑞穂	メス	3	762,480	569,160	672,480
	又キ	4	711,720	584,280	643,410
	合計	7	762,480	569,160	655,869
羽須美	メス				
	又キ				
	合計	0	0	0	0
石見	メス				
	又キ	4	757,080	699,840	756,810
	合計	4	757,080	699,840	756,810
川本	メス	3	685,800	644,760	668,880
	又キ	3	727,920	642,600	673,200
	合計	6	727,920	642,600	671,040
邑智	メス	4	704,160	534,600	639,090
	又キ	11	893,160	708,480	788,596
	合計	15	893,160	534,600	748,728
大和	メス	1	529,200	529,200	529,200
	又キ				
	合計	1	529,200	529,200	529,200
桜江	メス				
	又キ	1	684,720	684,720	684,720
	合計	1	684,720	684,720	684,720



2018

JAしまね

島根おおち地区本部 オリジナルカレンダー



JA島根おおち地区本部は、
来年2018年のオリジナル
カレンダー作品を募集します。

作品
募集



応募要領

JAグループが主催する以下のコンクールへの
応募作品の中から選考し採用します。

- JA バンク 「みどりを守る児童画コンクール」
- JA 共済 「交通安全ポスターコンクール」
- JA 全農 「クミアイプロパン絵のコンクール」



作品基準

各コンクールの募集課題に準じて行いが、
オリジナルカレンダーには、横書きの作品を使用する。



応募資格

JA島根おおち地区本部管内の小学生

応募先

各小学校を通じてJA窓口へ送付。

審査

選考基準、表彰
各コンクールの作品から選考し採用とする。



注意情報

組合員・利用者みなさまへ

このたび、JAしまねの組合員・利用者に対し、JA職員を装った人物からの口座番号の問い合わせ、JA共済の支払い等に関するリフォーム業者からの不審電話が発生しております。

口座番号の問い合わせや、JA共済の支払いに関する事例が発生した場合、まずは最寄りの支店または島根おおち地区本部までご相談ください。

事案1

JA職員を装った人物から「出資配当金の振り込みを行うため、口座番号を教えてください。」との電話

事案2

「共済を使って自己負担ゼロでリフォームが出来ます。」「屋根瓦がゆがんでますが、台風被害の損傷なので、あとで共済金が支払われるので修理しませんか。」

このような不審電話がかかってきた場合、口座番号を絶対にお答えにならないようお願いいたします。

修理費をめぐる業者とのトラブルに巻き込まれる恐れがあります。また、JA建物更生共済では自然災害による被害が発生した場合、JA共済の担当者が支払該当の可否や損害査定を実施し、迅速に対応します。

島根おおち地区本部

女性部 が行く



問い合わせ先 ☎83-1802

西部3女性部交流会

島根おおち、いわみ中央、西いわみの3地区本部の女性部による西部J A女性部ふれあい研修会を開催しました。交流会は、平成25年から始まり5回目となる今回は津和野市街を散策しました。

参加した女性部員は3地区合わせて56名。津和野駅に集合し、SL前で記念写真を撮ると、津和野駅から本通りを中心に城下町の古い町並みを見学しました。その後、和紙人形作りや太鼓台稲荷神社参拝、堀庭園を見学するなど芸術と歴史ある津和野の町を満喫しました。

西部の3女性部が地区本部をまたいだ交流をもつことができ、さまざまな体験を共有することで、親交を深めることが出来ました。今後も3地区の女性部で交流を続け、より良い関係を築いていきます。

6月
28



介護施設にタオル寄贈

6月
12



島根おおち地区本部女性部邑智支部は、社会貢献活動の一環として美郷町別府の社会福祉法人敬愛福祉会にタオルを寄贈しました。タオルは、デイサービスやすらぎの里別府の施設で役立てていただこうと部員たちがそれぞれ持ち寄りました。当日は、尾原恵美子部長と梅田近枝副部長から西原慎治理事長に手渡されました。尾原部長は「少しでも施設を利用される皆様の、お役に立てればうれしい」と笑顔で話されました。邑智支部ではこれからも社会貢献活動や地域に根付いた活動をしていきます。

夏に向けた料理研究

6月
20

羽須美支部は、これからの暑い夏に向けた料理研究を開催しました。作ったのは2品で、今が旬の新ジャガイモや夏野菜のキュウリやトマトを使った、簡単に作れ、サッパリと食えることができる料理に仕上がりました。レシピは以下のとおりです。試してみてください。

新ジャガサラダ



材 料

ジャガイモ
キュウリ
トマト
卵
ジャコ
好みのドレッシング

- ①ジャガイモを千切りにし、サツと茹でて、冷水に上げる
- ②キュウリを千切り、トマトを適当に切る
- ③卵を焼き、錦糸卵を作る
- ④ボールに①②③を入れ、ジャコと一緒に混ぜる
- ⑤器に盛り、好みのドレッシングをかける

新ジャガイモの納豆和え



材 料

ジャガイモ大…1
トマト大…1
キュウリ…1本
納豆…1パック
ジャガイモ大…1
イカ…適量
大葉…適量

- ①イカを塩ゆでし、適当な大きさに切る
- ②ジャガイモを1センチ角のサイコロ形に切り、やわらかくなるまでゆでる
- ③トマト、キュウリを適当に切る
- ④ボールに納豆を入れ、混ぜる
- ⑤④にゆでたイカ、ジャガイモ、トマト、キュウリを入れ、混ぜ合わせる
- ⑥塩で味を調整する
- ⑦器に盛り、切った大葉をのせる



JALしまね 島根おおち地区本部

事業所・施設紹介



農機拠点センター

平成 29 年 3 月島根おおち地区本部は、営農事業を中心に大幅な機構改革を行ないました。これにより、農機課を農機拠点センターに名称を改め新たなスタートを切りました。

管内二箇所に整備工場を設け整備担当者が常駐しており、事務所にはフロントを配置し、各地区には選任担当者を配置することで、組合員からの問い合わせや修理依頼等に迅速に対応できるような体制としています。

お問い合わせは、フリーダイヤル 0120-927277 までご連絡下さい。

問い合わせ

邑智郡邑南町矢上 53
TEL (0855) 95-0814
FAX (0855) 95-1088

8月の行事紹介

8月22日(火) **年金相談会**
場 所：石見支店
時 間：10:00~15:00

8月27日(日) **ローン相談会**
場 所：邑智支店
時 間：9:00~15:00



8月の外勤日

17日(木)・18日(金)・19日(土)



お知らせ



8月
5(土)

コンプライアンス研修・ 人権啓発研修会

全職員を対象に行ないますので、各事業所の窓口はお休みにさせていただきます(一部除く)

8月
9(水)

ゆとり倶楽部

内容：米袋をリサイクルしてバック作り
※聴講もできますので、ご希望の方は組合員課(☎83-1802)までご連絡下さい



秋から春先まで、 新鮮な味と 栄養価が魅力的な ブロッコリー

板木技術士事務所 ● 板木利隆

抗がん作用が高いと注目される野菜です。カロテンとビタミンCが豊富で、免疫力アップや抗ストレス効果も。カリウム、鉄、クロムなどのミネラルも含まれています。

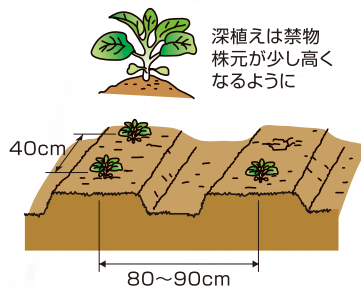
家庭菜園で秋から早春まで長く取り続けるには、品種選びが大切です。頂花蕾（ちょうからい）だけでなく、側花蕾（そくからい）も取れる「頂花蕾側花蕾兼用」品種がおすすめです。

種まきの適期は7月中旬です。育苗期は高温期に当たりますが、秋の生育適温下で最大成長するので育てやすいのです。頂花蕾は10月下旬、側花蕾は10月下旬から3月ころまで長期間収穫できます。

育苗は128穴のセルトレイ、少ない本数で良ければ3号ポリ鉢に3~4粒まきとし、育つにつれて逐次間引きし、1本立てにします。

セル育苗では本葉3~4枚、鉢育苗ではやや大きく本葉5枚ぐらいの苗に仕上げ、本畑に植え付けます。育苗期間は暑い盛りなので、苗はできるだけ風通しの良い、涼しい場所を選び、強光時にはよせず、遮光ネットなどで覆い、灌水（かんすい）は朝夕にたっぷり与えるなど、常に目配りし、入念に管理しましょう。

保水力のある有機質に富む土壌を好むので、植え付ける畑には少なくとも半月ぐらい前に、植え畝の中央部に、くわ幅10~12cmの溝を掘り、良質の堆肥と油かす、化成肥料を長さ1m当たり堆肥5~7握り、油かす大さじ7杯、化成肥料同5杯ぐらいを施します。成長が盛んになったら月2回ぐらい、化成肥料を1株当たり大さじ1杯ぐらい追肥します。頂花蕾を収穫したときには多めに追肥し、側花蕾の発達を促します。



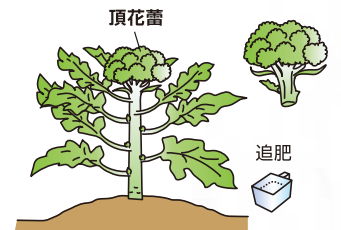
根は湿害に弱く、秋の多雨による病害の発生の恐れがあるので、株元が低くならないよう、特に多雨後の排水に注意してください。

茎の太さの割に草丈が高くなるので、風当りの強い所では小支柱を立てて転倒を防止しましょう。

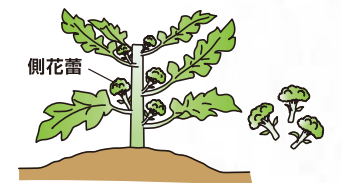
頂花蕾は径12~13cmぐらいで収穫します。茎を長く付け過ぎると側花蕾の数が減

るので、短く切り取ります。側花蕾は大きくはなりません。径4~5cmほどで収穫します。いずれも蕾（つぼみ）が大きく膨らむと品質を損ねますので、緑が濃く花蕾が締まっているうちに収穫します。

アブラナ科の野菜は、苗のうちからアブラムシ、コナガ、アオムシや黒斑病、軟腐病などにやられるので、早期に発見、適農薬を散布して防ぎましょう。



株の周りに追肥して勢いをつけ、良い側花蕾を出させる



小さいがまとめて使えば味に遜色はない

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

タテのカギ

- ②小玉や種なし、四角い物などもある果実
- ⑤縁も——もない人に助けられた
- ⑦117に電話をかけると聞けます
- ⑨ロシアの酒の代表格
- ⑪ワインボトルの底に沈んでいることも
- ⑫オランダゼリともいう葉野菜
- ⑬木などにぼっかりと開いた空洞
- ⑯国語、算数、理科、社会など
- ⑰コンニャクイモの生産量日本一の県
- ⑲目上の人に勧める席
- ⑳アンデス、プリンスといえ

ヨコのカギ

- ①もくもくと高く盛り上がる雲
- ②洋風の上履きの一つ
- ③食事作りや掃除、洗濯など
- ④武田信玄から連想される四字熟語
- ⑥目や鼻や口があります
- ⑧酔うと赤くなる人も
- ⑩古い地層から恐竜の——が見つかった
- ⑬和風の宿泊施設です
- ⑮——より証拠
- ⑰日本列島をぐるりと取り囲んでいます
- ⑲歩き過ぎて足の裏にできちゃった

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	9		14	18	
			B			
	6			15		D
2			12		19	21
		10		16		
			C			
3	7		13		20	
	8	11		17		
4						E

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒696-0222 邑智郡邑南町下田所277
JAしまね 島根おおち地区本部 組合員課 「クイズ」係
平成29年8月5日(土)(当日消印有効)

◆先月号の答え◆ 「カブトムシ」

ユ	カ	タ	ミ	ア	イ
ウ	カ	ウ	ツ	シ	エ
シ	オ	ド	キ	タ	イ
ヨ	ア	ブ	ラ	ニ	
ク	ラ	ク	チ	バ	シ
ム	シ	ロ	ソ	ヤ	
キ	ネ	ン	ボ	ト	

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

健康散步 JA島根厚生連

水中ウォーキングで夏だって気軽に運動

日々、暑さと戦う季節になりましたね。暑さをアイスクリームや冷えたビールなどでごまかしてみても、気の紛れるのはその一瞬だけ。冷房の効いた部屋の中でついついゴロゴロして夏太り……。ここは一気に夏バテと暑さの両方を解消しちゃいましょう。涼しくなって、健康になる。おまけにシェイプアップも出来ちゃうかも!?

こんなおいしい話というのは行水と健康づくりを兼ねた水中運動をすることです。中でも泳ぐのは苦手という方も気軽にできる水中ウォーキングはいかがですか？

水中ウォーキングは、地上でのウォーキングに比べ水の浮力のおかげで体重が最大70%も軽くなると言われており、膝や腰への負担が大きく軽減されます。さらに、水の抵抗がかかるために普通に歩くよりも消費カロリーが多くなるのも嬉しいところ！

水中ウォーキングでの注意点は、水の抵抗を受けるために、上半身が反り返りやすくなること。これを防ぐには腹筋を締めて上半身をやや前傾にして歩くようにしましょう。そして、下半身は膝を少し曲げて重心を落とし、足裏全体で水底をつかむように踏ん張って歩きます。腕もクロールのように前から後ろへ水をかくことで前方へ進みやすくなります。水底は滑りやすいのでスリッパに注意してください。

また、水中運動の場合でも、運動量が多いときは体温が上昇し発汗しています。水分不足にならないように水分補給を心がけてください。

楽しく続けるためには、最初はやや楽に感じる、物足りない程度からスタートし、徐々に時間を伸ばしていくことが大切です。暑いこの季節には、水中が気持ちよくついつい時間が長くなったり、浮力で楽に歩けるので歩き過ぎになつたりと、過疲労にならないことがあるので、少しずつ自分の体と相談をしながらはじめましょう。水中ウォーキングで暑さを紛らわし、暑さに負けない体作りをしてみませんか？



理事会情報 (5月30日開催)

監査報告

平成28年度決算監事監査報告について

協議事項

- ①平成29年度国庫及び県単補助事業の実施について(追加)
- ②大口貸出金の承認について
- ③体制整備基準における「効率化店舗」の設置・運営に係る要項設定について
- ④島根県常例検査書の回答について
- ⑤JA全国監査機構による期中改善指示事項(期中監査)に対する回答について
- ⑥組合と理事との取引(契約)の承認について
- ⑦経理規程の一部改正について
- ⑧平成28年度決算の承認について
- ⑨第3回通常総代会への附議議案について
- ⑩本店子会社等の役員への役員職員の推薦について

- ⑦プロジェクト)の取組みについて
- ⑧米穀園芸情勢について
- ⑨第11回全国和牛能力共進会出品対策について
- ⑩鳥根県牛牛公正取引条例の見直しに係る対応について
- ⑪雲南畜産総合センターの平成28年度末実績報告及び地区本部損益配賦について
- ⑫第2期生産資材価格低減プロジェクト(飼料部門)中間とりまとめについて
- ⑬JA西日本くみあい飼料(株)倉敷工場の稼働について
- ⑭畜産情勢について
- ⑮平成29年秋肥価格(6-10月)について
- ⑯生産資材価格低減プロジェクトについて(第2期中間報告)
- ⑰第7回農機総合展示会開催企画について
- ⑱金融円滑化にかかる貸出条件変更等の実施状況について
- ⑳平成28年度防犯カメラ寄贈について(全共連事業)
- ㉑平成28年度カーブミラー寄贈について(全共連事業)
- ㉒組合と理事との取引(契約)の報告について
- ㉓事務ミス報告について
- ㉔自主検査実施報告について
- ㉕コンプライアンス実践状況について
- ㉖平成28年度における統合メリットについて
- ㉗平成29年4月主要実績について
- ㉘子会社等の現況一覧について
- ㉙鳥根中酪の株式会社化に伴う財務確認について
- ㉚第3回通常総代会当日の対応について
- ㉛平成29年6月1日付け本店人事異動について
- ㉜監査(第4四半期)報告書について
- ㉝平成28年度業務活動報告書について
- ㉞その他① 鳥根県系統農協・警察防犯対策協議会業務推進状況について
- ㉞その他② 農政をめぐる情勢について
- ㉞その他③ 青年・女性理事 活動報告等

報告事項

- ①平成28年度農業戦略実践3カ年営農計画進捗状況について
- ②ふるい目更新に伴う県単事業・JA支援事業の活用について
- ③農業経営管理支援事業(経営コンサル)の平成28年度総括および平成29年度実施計画について
- ④県域担い手サポート事業に係る取り組み状況報告(第4四半期)
- ⑤農業防災保険の加入状況について
- ⑥平成29年度産島根米食味向上(特A獲得重点

- ⑦プロジェクト)の取組みについて
- ⑧米穀園芸情勢について
- ⑨第11回全国和牛能力共進会出品対策について
- ⑩鳥根県牛牛公正取引条例の見直しに係る対応について
- ⑪雲南畜産総合センターの平成28年度末実績報告及び地区本部損益配賦について
- ⑫第2期生産資材価格低減プロジェクト(飼料部門)中間とりまとめについて
- ⑬JA西日本くみあい飼料(株)倉敷工場の稼働について
- ⑭畜産情勢について
- ⑮平成29年秋肥価格(6-10月)について
- ⑯生産資材価格低減プロジェクトについて(第2期中間報告)
- ⑰第7回農機総合展示会開催企画について
- ⑱金融円滑化にかかる貸出条件変更等の実施状況について
- ⑳平成28年度防犯カメラ寄贈について(全共連事業)
- ㉑平成28年度カーブミラー寄贈について(全共連事業)
- ㉒組合と理事との取引(契約)の報告について
- ㉓事務ミス報告について
- ㉔自主検査実施報告について
- ㉕コンプライアンス実践状況について
- ㉖平成28年度における統合メリットについて
- ㉗平成29年4月主要実績について
- ㉘子会社等の現況一覧について
- ㉙鳥根中酪の株式会社化に伴う財務確認について
- ㉚第3回通常総代会当日の対応について
- ㉛平成29年6月1日付け本店人事異動について
- ㉜監査(第4四半期)報告書について
- ㉝平成28年度業務活動報告書について
- ㉞その他① 鳥根県系統農協・警察防犯対策協議会業務推進状況について
- ㉞その他② 農政をめぐる情勢について
- ㉞その他③ 青年・女性理事 活動報告等

知って納得JA
—協同組合の力—

Q JAは何をしている協同組合なの?

A 農業を中心に、地域住民のくらしをより良くするための事業を行っています。

JAは「農業協同組合」なので、地域農業を発展させ、組合員のくらしを守り高めることが最も重要な目的です。農業の生産力を高め、農業所得を向上させるため、営農技術の指導の他、安全で品質の良い肥料や農薬、農機具などを適正な価格で提供するなど、農家を総合的に支えています。

JAでは「農業」を農地、食べ物、地域のくらしや環境なども含めて広い意味で捉えます。学校給食への農産物の提供や農業体験などを通じて地産地消を促し、農業と食・くらしをつなげています。信用・共済事業の他、高齢者福祉事業なども行い、地域にくらす人々の生活をより良いものにするこことで、地域の活性化に貢献しています。

(監修=広島大学 助教 小林元)

JAが行っている主な事業

指導事業



農家にアドバイスをする仕事です。職員が農家のもとに出向き、おいしくて安全な農産物の作り方や家畜の育て方、農業の経営などについて相談にのっています。

販売事業



農産物などを販売する仕事です。農家から集めた農産物を共同で市場に出したり、直売所で販売したりしています。農産物を適正な値段で販売することは、農家の経営を支えるためにとても大事なことです。

購買事業



質の良い物をまとめて買って分ける仕事です。共同購入のしくみで、安全で品質の良い肥料や農薬、家畜の餌、農業機械、くらしに必要な物を計画的にまとめて買うことで、組合員は安定的に購入することができます。

信用事業



組合員からお金を預かり(貯金)、それぞれの組合員が必要ときに、借りることができる(貸付)ようにするなどの仕事です。集まったお金は組合員の農業やくらしのために役に立てられ、地域の金融機関として大切な役割を果たしています。

共済事業



組合員やその家族、地域の人々が安心してくらすための仕事です。組合員はあらかじめ一定の「共済掛金」を拠出して共同の財産を準備し、火事や病気、自動車事故などが生じた場合に「共済金」を支払います。

耕そう、大地と地域の未来。

ハチを見かけたら巣づくり警報!

無料調査 ハチ 駆除

近寄らず、触らず!!
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店・
支所にお問い合わせ
ください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

株式会社 **コダマサイエンス**

■本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■江津営業所 / ☎0855-52-6852

■益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■隠岐営業所 / ☎08512-2-2471

そなえていますか?

クミアイのおくすり



かぜ、胃腸の不調、小さなケガや 軽い症状は自分で治しましょう。

それが、セルフメディケーションです。

(自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること)



「クミアイ家庭薬」のメリット

- 使った分だけ後払い、家計にやさしく経済的!
- 期限の切れそうな薬も、**無料**でお取り替え
- 季節やご家族のニーズに合わせて補充
- 災害など緊急時にも安心の常備薬!
- クミアイ家庭薬で「明日はもっと健康に」



クミアイ家庭薬

お問
い合
わせ
先

JAしまねの各支店 または

協同薬品工業(株)島根営業所 ☎0853-73-7430



しまね れしぴ

料理研究家 土井小百合

きゅうりと鶏むね肉の中華風



電子レンジを使いサツとできあがります。熱い夏に酢とごま油であっさりした味なので、いくらでもキュウリがおいしく食べられる一品です。きゅうりは、ほてった体を冷やしてくれます。

●材料 (4人分)

鶏むね肉	1枚 (約300g)	醤油	大さじ1
塩、こしょう	適量	酢	大さじ1
酒	大さじ1	ごま油	大さじ2/3
きゅうり	2本	黒ごま	大さじ1

●作り方

- ①きゅうりは3~4等分に切り、縦に4等分の棒状に切り、塩を少し置き、水洗いして水気を絞る。
- ②鶏肉に塩、こしょう、酒をふりラップをしてレンジに5~6分かける。火が通ったら手で一口大にさく。
- ③ボールに調味料を合わせ、鶏肉を混ぜ込み味をなじませてから、きゅうりを入れ和える。

トマトつけだれ・そうめん



トマト入りのそうめんつゆなので、色が綺麗でトマトの旨みも加わり、そうめんがいくらでも食べられます。洋風イメージのあるトマトを、和風でさっぱりといただける涼麺メニューです。

●材料 (4人分)

そうめん	6~8束	トマト	中4個
きゅうり	少々	水	400ml
薬味		ほんだし	小さじ1
大葉	5枚	みりん	大さじ4
みょうが	2~3個	しょうゆ	大さじ3
おろししょうが	少々	塩	小さじ1
白ごま	少々		

●作り方

- ①トマトは皮を湯むきして種を取り1cm角に切る。
- ②水、ほんだし、しょうゆ、みりん、塩を沸騰させ火を切り冷ます。
- ③冷えたらトマトを入れ冷蔵庫に入れ冷やす。
- ④きゅうりは千切りにする。
- ⑤みょうが、大葉は千切りにして薬味にする。
- ⑥そうめんをゆで、皿に盛りキュウリを添える。
- ⑦薬味とトマトダレをつけて食べる。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、島根県西部を流れる高津川の鮎釣りの様子です。高津川は、水質日本一に何度も選ばれている全国屈指の清流で、日本で唯一ダムが無い一級河川としても有名です。また、高津川の鮎は薫り高く美味で人気があり、シーズンには全国から釣り人が訪れます。

編集後記

今月の表紙に描いて頂いた鮎釣り。私の父も昔から鮎釣りをしており、子供の頃からいつも食べさせてもらっていました。塩焼きや背ごし(刺身)、鮎ご飯など、とても美味しいですね。私も一度だけ友釣りに挑戦しましたが、難しいものでした。(藤)



【今月の表紙の原画】
原画の全体は次のとおりです。